

基本事業コード	05020001	担当課所名	パスポートセンター
基本事業名	旅券業務		
総合振興計画 の位置づけ	基本柱(章)	7	互いに助けあう「協働のまち」
	政策	3	誰からも信頼される市役所づくり
	施策	1	効率的な行政の展開
			総合振興計画 174 ページ

基本事業の概要	秩父地域の住民の旅券取得における利便性を向上させるため、秩父地域1市4町が埼玉県から旅券発給の権限移譲を受け、秩父市が同業務の委託を受けて平成21年4月1日に秩父市役所1階市民課フロア内にパスポートセンターを開所し、同日より1市4町の旅券申請・交付業務を行う。
---------	--

対象	旅券取得を希望している秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町に住所を置く住民
意図 (対象をどのようにしたいか)	旅券取得における利便性の向上を図る

基本事業指標	指標の算式	単位	23年度	評価年度(24年度)		26年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
旅券の正確受率		%	100.	100.	100.	100.	
旅券の正確交付率		%	100.	100.	100.	100.	
旅券の申請書受理にかかる一人当たりの時間		分	10.0	10.	10.0	10.	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			24年度	単位	事務事業評価 26年度以降の 事業の方向性 コスト成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		23年度決算額	24年度決算額	25年度予算額	実績値(下段)			
01	旅券の申請・交付	指標	旅券の申請件数	-		人	B	
		4,314,524	4,337,665	4,520,000	1,902		維持	拡充
02		指標						
03		指標						
04		指標						
05		指標						
06		指標						
07		指標						
08		指標						
09		指標						
10		指標						
11		指標						
12		指標						
13		指標						
14		指標						

(参考) 最終予算額(円)		4,889,000	4,515,000
事業費の合計(円) (A)		4,314,524	4,337,665
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金	2,292,000	2,282,000
	地方債		
	その他特定	2,597,000	2,604,000
	一般財源	▲ 574,476	▲ 548,335
正規職員	業務量	1.45人	1.50人
	人件費(B)	8,616,271	9,030,752
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	2.46人	2.39人
	人件費	4,243,506	4,259,690
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		12,930,795	13,368,417

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性				

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の意図は適切か？また基本事業指標と目標値の設定は適切か？実績値に問題はないか？ 秩父地域住民の利便性を図る事業であり指標に問題はない。申請受付・交付事務においては3重のチェックを行うことで、正確な申請受付交付の目標値を達することは可能である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業指標を達成するために構成した事務事業に問題点はないか？ 正確な旅券の申請・交付を行う事業なので問題はない。 現在は窓口が少なく、申請・交付で同じ窓口を使って対応することもあるため、時期によっては10分以上待ってもらう事もありえる。
実施主体の妥当性	行政(国・県・市)・企業・市民・NPO等それぞれの実施主体は適切か？ 県からの権限移譲の事務であり、広域で行う関係上、市で実施することが適切である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述		
旅券の申請交付事業は、秩父市民だけでなく秩父地域4町の住民に対しても行っているため、待ち時間の短縮を図り、また二度手間とならないように正確な対応を行うよう努める。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
この基本事業の意図を達成するための、具体的な改善提案(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わず早急に実施可能な改善提案	秩父地域パスポートセンターの全ての職員が旅券申請受付申請・交付事務を行えることが来庁者の利便性向上に繋がるため、今後も継続的に職場研修を行っていく。	昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 秩父地域パスポートセンターの全ての職員が旅券申請受付申請・交付事務を行えることが来庁者の利便性向上に繋がるため、今後も継続的に職場研修を行っていく。 職員異動のある4月に、職員研修を毎年実施することにより、徐々に事務処理の拡大になっている。
短期的(1~2年以内)に実施可能な改善提案		
中長期的(概ね3~5年)に実施可能な改善提案		
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
全ての職員が旅券の申請受理・交付事務が出来るようになるため、2つあるパスポートセンターの窓口をフル活用できる。また、申請受理するために必要な2次審査がすぐ出来るため、申請者の待ち時間が軽減される。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	浅見 きよみ	電話番号 0494-22-5348
----------------------	--------	----------------------